

主権回復60周年・沖縄本土復帰40周年

主権回復記念日国民集会

◎平成24年4月28日(土)

午後2時～4時30分(1時開場)

◎自由民主党本部8階ホール

●東京メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線

永田町駅3番出口から徒歩1分

●銀座線・丸ノ内線赤坂見附駅から徒歩10分

◎入場無料(予約不要)

●定員の関係から、お越し頂いても入場できない場合があります。また、主催者の制止に従えない場合、退場をお願いする場合がございます。

【登壇者】 敬称略

谷垣 禎一 自由民主党 総裁

平沼 赳夫 たちあがれ日本 代表

小堀 桂一郎 東京大学名誉教授

井尻 千男 拓殖大学名誉教授

南丘 喜八郎 『月刊日本』 主幹

※なお他にも議連を始め多数の方が登壇予定です。

趣意書(抄)

第一回「主権回復記念日国民集会」の開催以来、この集会は連年盛況裏に回を重ね、世話人・発起人一同、皆様のご支持とご声援に感謝申し上げます。然しながら、本年は六十周年を迎える記念的な時機に当たっているにも拘わらず、この運動は記念日の制定という形の上でも、国家主権意識の再生・確立という実質の面でも、未だにその目標を達し得ておりません。このような言論のみを以てしての精神作興事業の難しさに改めて認識を深めた次第であります。

幸いにして、昨年夏「四月二十八日を主権回復記念日にする議員連盟」が結成され、本年の集会は、議員連盟との共同主催という形をとり、会場も自民党本部を使わせて頂き、最終目標の達成に向けての充実した意見提示がなされる事とおもいます。加えて本年は、主権回復以来も長く米軍占領下にありました沖縄が悲願の本土復帰を成就してより四十周年の記念年にも当たっております。この意味からも主権回復記念日の祝日化は本年の実現が必須の要望となります。私国民が一致団結し取り組むべき課題は、領土領海の侵犯に対する厳正な対処、被拉致同胞全員救出の懸案、総理を始め内閣閣僚の靖國神社公式参拝の定例化、歴史認識に関わる教科書編纂の自主独立性の堅持等々、実に枚挙に遑なきほど山積しております。何卒当日の集會に奮ってご参集の上、国家の本来在るべき姿についての皆様の思量を深めて頂きたく、茲にご案内申し上げます。

【共同主催】

主権回復記念日国民集会実行委員会

自民党主権回復記念日制定議員連盟

たちあがれ日本

《連絡先》

主権回復記念日実行委員会事務局

電話

〇八〇一五八八八―二五八六

Fax

〇五〇一三一五六―七四六一